- $\widehat{\underline{1}}$
- 3 \*の語の意味を辞書で調べ、傍線部の間(吹き出し部分)に答えながら、文の左側に現代語訳を記入する。①の例にならって、文の右側に、二重波線部の敬語について、敬語の種類、誰から誰への敬意かを記入する。わからなければ、『体系古典文法』で調べる。何の例にならって、文の右側に、波線の助詞・助動詞について文法的な説明(訳や活用語など)を記入する。教科書の脚注(①~⑨)を読む (2)音読をする。  $\widehat{\underline{4}}$

も同じ。

- $\widehat{\underline{4}}$
- $\widehat{5}$

歴史物語 大鏡 貫之と躬恒 p 182 183

文法事項 など

夏山繁樹→帝

帝

御書所 に ® れ{

て

延喜の御時に『古今』抄せ

現代語訳

。 ら う れ ー し折、 | 貫之は \*さらなり、 樹→帝 用

忠岑や躬恒などは、

いみじく

寒 し じ

おはします。

② 候**%** ひ**%** けるほどに、 四月二日なりしかば、 まだ忍び音のころにて、

4 給 **2** り。**E** 

貫之

部に出てて、

歌仕うまつら

© し め

いかが鳴き じない ほととぎす この宵ばかり  $\overline{2}$ あやしきぞなき 「あやしき」ほど、どうなのか? /を入れよう。

こと夏は

〇で囲もう。 躬恒はどのような身分と考えら 高い身分 익 低い身分 れるか?

それを『だに \*けやけきことに思ひ。給へ しに、 同じ御時、 御遊びありし夜、

四段活用 or 下二段活用?

 $\overline{3}$ 御前の御階のもとに躬恒を召して、

→体系古典 p123

低うまつれ。」 と [4] 仰せ言ありしかば、

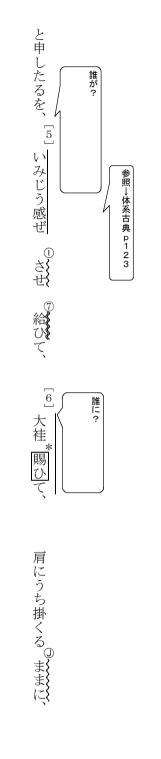
「月を弓張といふ心は何の心ぞ。

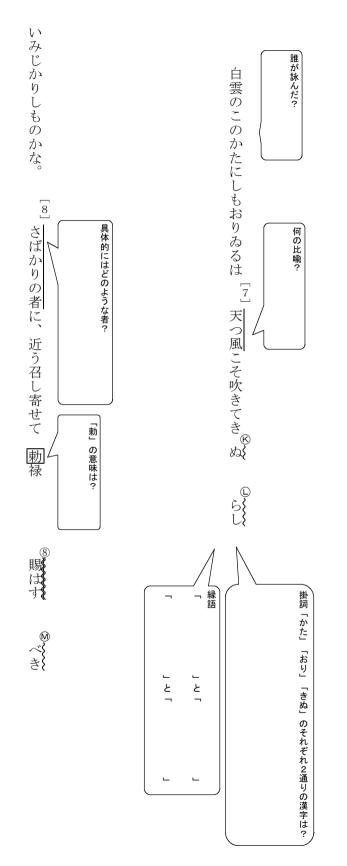
これが\*曲

氏名(

照る月を弓張と<sup>©</sup>~ もいふことは山辺をさしていればなり。けり

(例)ふる (時間が)経る・(雨が)降る掛詞「いれ」の2通りの漢字は?







また躬恒が 和歌の道に許さ<sup>®</sup>れ たるとこそ、思ひの給へ 四段活用 or 下二段活用?

番 氏名

(1)教科書の脚注 (①~⑮) を読む  $\widehat{\underline{2}}$ 音読をする。

3

- \*の語の意味を辞書で調べ、傍線部の問(吹き出し部分)に答①の例にならって、文の右側に、二重波線部の敬語について、尊敬の助動詞の場合は、誰から誰への敬意かを記入する。わか④の例にならって、文の右側に、波線部の助詞・助動詞につい 分)に答えながら、文の左側こ見弋昏ぇ・‐‐ついて、敬語の種類、誰から誰への敬意かを記入する。る。わからなければ、『体系古典文法』で調べる。(4)も同詞について文法的な説明(訳、活用語など)を記入する。 も同じ。
- 5  $\widehat{4}$

## 大鏡 最後の除目 p 192 194

この殿たちとは誰と誰?

この殿たちの兄弟の御仲、 年ごろの官位の劣りまさりのほどに、

> 御仲悪しくて過ぎ

尊 →兼通・兼家 間に、

堀河殿 御病重くならせ給ひて、 今は限りにて おはしまししほどに、

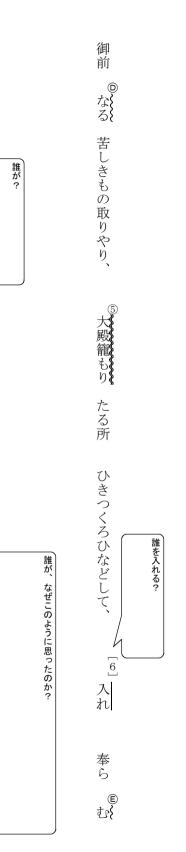
윽

東の方に 前駆追ふ 音のすれ (B) ば{ 御前に ② 候 ふ 人たち、 「誰ぞ。」 など言ふほどに、

殿とは誰かっ

「東三条の大将殿 ③ 参 ら © せ{ と人の申しければ、  $\frac{1}{2}$ 殿 聞かせ給ひて、

年ごろ仲らひよからずして 過ぎつるに、 誰が?どうなった? 今は  $\overline{3}$ 限りになりたる と  $\overline{4}$ 誰が? 聞きて、 とぶらひにおはするに 「こそは」の後に省略されて いる語は?○で囲もう。 [5] こそは とて、



とて待ち給ふに、「「フナ

早く過ぎて

内裏へ

参ら

せ

⑥ 給**%** ひ**%** 

₽ | |-|-

と人の申すに、

[8] いとあさましく心憂くて、

[6] この殿の門を通りて、

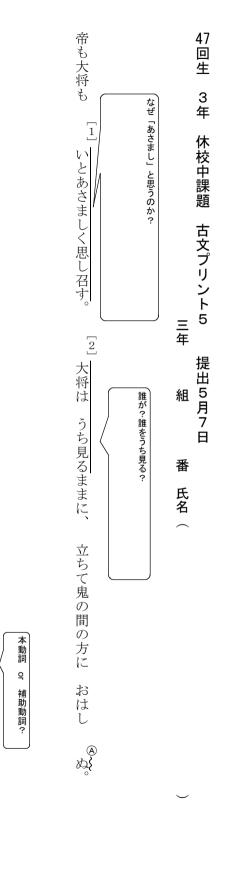
参りて申し奉るほどに、

堀河殿の目をつづらかにさし出で

9 給

③ る{

に、



蔵人頭 ③ 召して、関白には頼忠の大臣、東三条殿の大将を取りて、 小一条の済時の中納言を大将に

関白殿

御前に

つい居

給ひ

て、

御気色いと悪しくて、

「最後の\*除目

行ひに

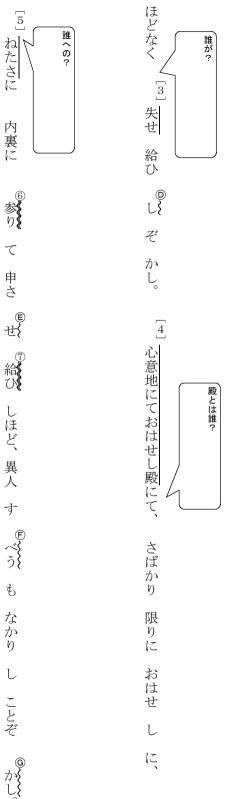
① 参りて

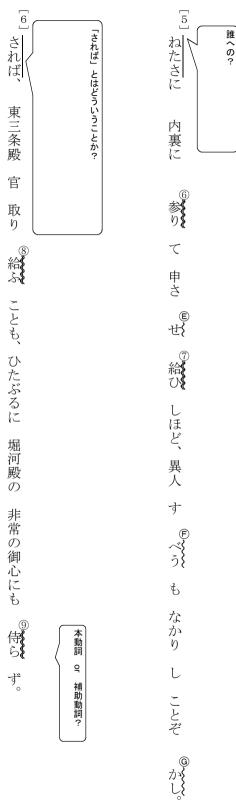
② 侍**%** り**%** 

® つ る \*

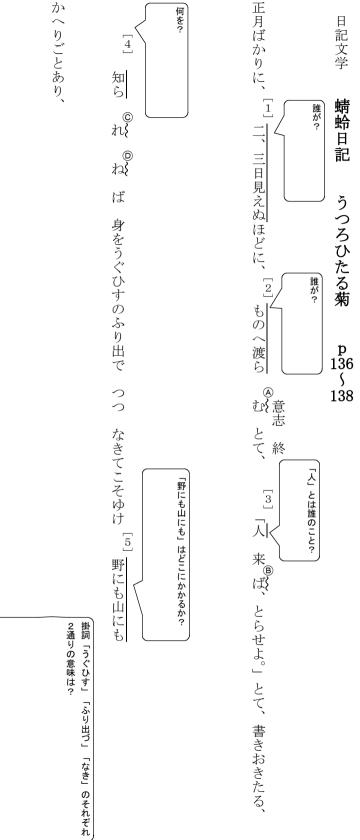
なり。」とて、

なし 聞こゆる 宣旨下して、東三条殿をば治部卿になし 4 開 こえ え て出で © させ せ ⑤ 給**\*** ひ**\*** て、





ことのゆゑは、かくなり



など言ふころより なほもあらぬ ことありて、 春夏なやみくらして 八月つごもりに

うぐひすの

あだに

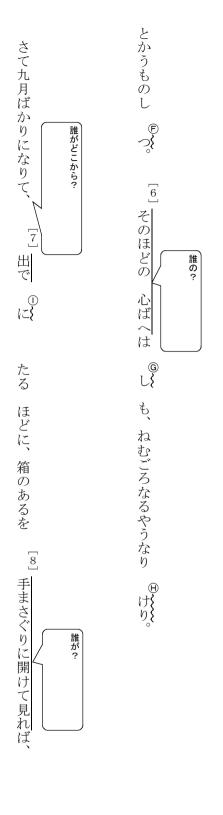
出行か

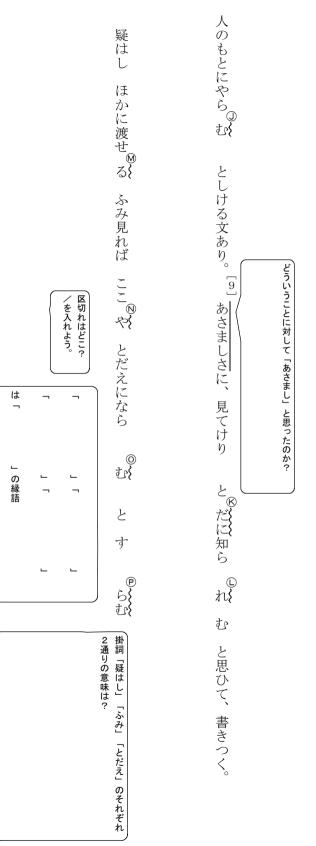
(E) む{

山辺にも

なく声聞かば

たづぬばかりぞ





など思ふほどに、

むべなう、

十月つごもりがたに

 $\boxed{1}$ 

三夜しきりて見えぬときあり。

つれなうて、「しばし試みるほどに。」

\*けしきあり。 [2] ( これより、 これとはどこのこと? 夕さりつかた、「内裏の\*||方ふたがりけり。」とて 誰が? 【3】出づるに、 心得 (A) 人をつけて

見すれば、 「町の小路なるそこそこに®なむ、 [4] とまり 給ひ ぬる。」とて、来たり。 さればよ といみじう心憂しと思へ©~~

係助詞「なむ」の結びの語は?

「さ」の具体的な内容は?

言は<sub>®</sub>な{ やうも知ら で あるほどに、二、三日ばかりありて、 暁がたに門をたたくときあり。[5] さ (E) な**(** ® め**{** り**{** 

と思ふに、 憂くて、 開け<sup>©</sup>~~~ ⊕ ね{ ば、 例の家とおぼしき所に\*ものしたり。 \*つとめて、 なほもあら ① [`{ と思ひて、

① か<del>\*</del> は<del>、</del> 知る (例)ふる (時間が)経る・(雨が)降る掛詞「あくる」の2通りの漢字は?

嘆きつ

0

人寝る夜のあくるまは

いかに久しき

ものと

K 例よりは \*ひきつくろひて書きて、 \*うつろひ たる菊にさしたり。 かへりごと、

「ことわり」

であると言っているのか?

「あくるまでも試み ® ₺{ とし © れ ど、 \*とみなる 召使の来あひたりつればなむ。 いと 6 つるは。

げにやげに冬の夜 ® な ら め 真木の戸もおそくあくるは わびしかり ® け~~ り~

さてもいとあやしかりつるほどに 7 誰が? しばしは忍びたるさまに、

たり

® べき \*いとどしう [8] 心づきなく思ふことぞ限りなき

「内裏に。」など言ひ

ر ال ©

ぞある

を、

\$ @